

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月1日 (2018.11.1)

【公表番号】特表2017-530124(P2017-530124A)

【公表日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-516077(P2017-516077)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/761 (2015.01)

A 6 1 K 39/135 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/16 (2006.01)

C 0 7 K 14/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/761

A 6 1 K 39/135

A 6 1 K 38/16

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 31/12 1 7 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/16

C 0 7 K 14/09

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月21日 (2018.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

口蹄疫ウイルス ( F M D V ) 抗原または F M D V 抗原を発現する組換えウイルスベクターを含む組成物またはワクチン。

【請求項 2】

F M D V 抗原が F M D V V L P を形成する、請求項 1 に記載の組成物またはワクチン。

【請求項 3】

F M D V 抗原が昆虫細胞においてバキュロウイルスベクターによって発現される、請求項 1 または 2 に記載の組成物またはワクチン。

【請求項 4】

ウイルスベクターがアデノウイルスである、請求項 1 に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 5】

FMDV 抗原が野生型 P 1 ポリペプチドである、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 6】

FMDV 抗原が修飾 P 1 ポリペプチドである、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 7】

FMDV 抗原が、配列番号 1、2、4、5、6、8、10、12、13 または 16 に記載の配列を有するポリペプチドを含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 8】

FMDV 抗原が、配列番号 3、7、9、11、14、15、17 または 20 に記載の配列を有するポリヌクレオチドによってコードされている、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 9】

FMDV 抗原が、VLP の熱および酸安定性の増強を提供する天然に存在しないジスルフィド架橋を形成する、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 10】

修飾 P 1 ポリペプチドが、配列番号 2、4、6、8、10 または 16 のアミノ酸 179 に対応する位置にシステイン置換を含む、請求項 1 または 4 に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 11】

薬学的または獣医学的に許容される担体、賦形剤、アジュバントまたはビヒクルをさらに含む、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の組成物またはワクチン。

## 【請求項 12】

配列番号 1、2、4、5、6、8、10、12、13 または 16 に記載の配列を有する FMDV 抗原をコードするポリヌクレオチドを含むプラスミド。

## 【請求項 13】

ポリヌクレオチドが配列番号 3、7、9、11、14、15、17 または 20 に記載の配列を有する、請求項 12 に記載のプラスミド。

## 【請求項 14】

ポリヌクレオチドがプロモーターに作動可能に連結されている、請求項 12 または 13 に記載のプラスミド。

## 【請求項 15】

FMDV VLP を発現する安定に形質転換された昆虫細胞。

## 【請求項 16】

1 つまたは複数の FMDV 抗原をコードし、発現する 1 つまたは複数の異種性ポリヌクレオチドを含む組換えウイルスベクター。

## 【請求項 17】

アデノウイルスである、請求項 16 に記載の組換えウイルスベクター。

## 【請求項 18】

FMDV 抗原が、配列番号 1、2、4、5、6、8、10、12、13 または 16 に記載の配列を有するポリペプチドを含む、請求項 16 または 17 に記載の組換えウイルスベクター。

## 【請求項 19】

FMDV 抗原が、配列番号 3、7、9、11、14、15、17 または 20 に記載の配列を有するポリヌクレオチドによってコードされている、請求項 16 から 18 のいずれか 1 項に記載の組換えウイルスベクター。

## 【請求項 20】

昆虫細胞において発現された実質的に精製された FMDV VLP であって、配列番号

1、2、4、5、6、8、10、12、13または16に記載の配列を有するポリペプチドを含むFMDV VLP。

【請求項21】

ポリペプチドが、配列番号2、4、6、8、10または16のアミノ酸179に対応する位置にシステイン置換を含む修飾FMDV P1である、請求項20に記載のFMDV VLP。

【請求項22】

請求項1から11のいずれか1項に記載の組成物、または請求項16から19のいずれか1項に記載のウイルスベクター、または請求項20から21のいずれか1項に記載のFMDV VLPの少なくとも1回の投与を含む、FMDV感染に感受性である非ヒト動物にワクチン接種するまたは非ヒト動物においてFMDVに対する免疫応答を誘発する方法。

【請求項23】

初回 - 追加免疫投与レジメンを含む、請求項22に記載の方法。

【請求項24】

初回 - 追加免疫レジメンが、FMDVから非ヒト動物を防御するためおよび/または感染非ヒト動物において疾患進行を予防するために、請求項1に記載の組成物の初回投与、およびFMDV抗原をin vivoで発現するためのポリヌクレオチドを含む組換えウイルスベクターを含む組成物の追加免疫投与を含む、請求項23に記載の方法。

【請求項25】

初回 - 追加免疫レジメンが、FMDVから非ヒト動物を防御するためおよび/または感染非ヒト動物において疾患進行を予防するために、FMDV抗原をin vivoで発現するためのポリヌクレオチドを含む組換えウイルスベクターを含む組成物の初回投与、および請求項1に記載の組成物の追加免疫投与を含む、請求項23に記載の方法。

【請求項26】

同じまたは異なるFMDV組成物またはワクチンの1回または複数回の投与を含む、請求項22に記載の方法。

【請求項27】

FMDV組成物またはワクチンが、in vitroで発現されたFMDV VLPおよびin vivoでFMDV抗原を発現するウイルスベクターを含む、請求項26に記載の方法。

【請求項28】

母体由来抗体陽性(MDA陽性)非ヒト動物をFMDV感染に対して防御する、請求項22から27のいずれか1項に記載の方法。